

3・14 A夕「3号機も水素爆発、福島原発建屋損壊—官房長官「容器は健全、11人負傷—20キロ圏屋内退避要請」「炉心の不制御露呈—東電『安全性は保持』」「また爆発住民絶句、福島第一原発—炉噴出鉄骨むき出し、避難所『行く先ない』」／M夕「計画停電大混乱、東日本大震災—東電実施一部見送り、鉄道、都心行き半数運休—鉄道除外を要請、国交相『安全運行が困難』」「東電説明二転三転—停電有無『知らぬ』、前夜情報は『8割訂正』—東電株売り殺到」「停電、生産現場を直撃—百貨店休業相次ぐ、スーパー営業時間を短縮—工場も操業停止に」／Y夕「いつ停電広がる不安、東日本巨大地震—東電、計画見直しも—政府、情報発信できず—停電情報、東電任せ—連携不足の『人災』（編集委員安部順一）」「人も車も大行列—幹線道路渋滞『東電備え甘すぎる』」→3・15サ「『無計画停電』で首都大混乱—東電、ずさん情報公開」「避難所も突然暗闇に」「東電任せ責任逃れ—枝野長官『正確な情報届かず』」

3・14 被災者数（3・14午後10時現在、3・15A）

- 死亡 3105人以上
- 安否不明 15833人以上
- 避難 約57万人

福島第1原発—4号炉とも制御不能で最悪事態へ

3・14 福島第1原発2号機「炉心溶融」（空たき状態）

→3・15A「高濃度放射能放出、福島第一原発—2号機炉心溶融—燃料棒露出、空だき」「放射能、高まる緊張—2号機高濃度放出、福島第一原発3基とも炉心溶融—外部の電力確保まだ」「津波想定見直し検討—原発事故受け電力各社」「炉の冷却—触即発—作業員の安全苦慮」「原発冷やせ切迫、福島第一—応援の自衛隊員爆発で負傷—数人被曝、1人は放医研に—福島県、全避難所で検査へ—体内被曝の恐れ」／M「東電甘い危機管理、初の

計画停電一『実施』『回避』で迷走、鉄道との連携欠く」「首都圏で『買いだめ』一被災地に届かぬ恐れ」／N「停電不安暮らし混乱一鉄道、相次ぎ運休一営業中断やATM停止も」「周知ずさん、混乱に拍車一方針が二転三転・発表は実施直前・政府と連携不足」／T「なぜ被災地を停電に一鹿嶋の産科一『電気は絶対必要』茨城県知事『誠に遺憾』」

→3・15 各紙社説、論説

A「原発また爆発一大量被曝を回避せよ」一「計画停電一我慢と共助のときだ」／編集委員・竹内敬二「異常事態ドミノ一対策手探り」

M「東日本巨大震災一情報は危機管理の要だ／経済の底力発揮する時」

Y「東日本大地震一福島第1原発、相次ぐ爆発にも冷静な対処を／計画停電、説明不足が招いた首都大混乱」

N「子ども手当を削って震災救援を急げ／電力危機の混乱広げるな」

T「連続水素爆発一『多重防護』も見直せ」「計画停電一不便最小限にとどめよ」「経済打撃『阪神』以上、GPP1%下げ予測一東日本大震災、東電ストップ安」

サ「3号機も爆発一重大だが最悪でなかった」「計画停電の混乱一適切な周知で国民は協力」

H「被災者支援一現地の切実な求めに応えて」「計画停電一正確な情報提供を」

3・15 東北巨大地震被災者一3・15 午後11時現在 (3・16A)

○死亡 4,851人以上

○安否不明 14,428人以上

○避難 523,288人

3・15 福島第1原発2号機、爆発音一圧力抑制室損傷可能性／4号機（地震前から停止中）、原子炉建屋損傷、火災発生一保管中の使用済燃料棒の冷却不可の可能性 (3・15 各紙夕刊) →各地で異常数値

⇒3・15 菅内閣、福島原子力発電所事故対策本部（事務長・菅首相）設置

⇒3・15 菅首相、半径 20 キロ圏避難から半径 20～30 キロでの屋内避難呼びかけ

→3・15 A 夕「福島第一制御困難、放射能大量飛散の恐れ」2 号機圧力抑制室損傷か、4 号機核燃料漏出危機」「危うい、危機管理」首相自ら東電入り「民間任せ、一転対策本部」「原発不発東証暴落」下げ幅、一時 1300 円超える、リーマン直後上回る「『底がまったく見えない』日本経済への懸念」一気に」／Y 夕「高濃度放射能が拡散、福島第 1 原発 2 号機」原子炉格納容器、損傷、爆発音」30 キロ内、屋内退避」年間許容量の 400 倍」「各国報道、原発に集中」放射性物質や耐震性」「『レベル 6 では』仏専門家が見解」国際原子力事象評価尺度で 1979 年の米スリーマイル島原発事故（レベル 5）を上回る深刻な事故とする「チェルノブイリ原発事故はレベル 7」／M 夕「原発深まる危機」専門家憂慮の声「『史上最高の可能性』、圧力抑制プール爆発音」「『スリーマイル以上』仏核安全局」

→3・16 A 「高濃度放射能復旧阻む、4 号機燃料に近づけず」福島第 1、東電、へり散水要請へ」「東証暴落 1015 円安」下落率歴代 3 位、世界株安の様相」「避難 52 万人、死者 4800 人超」「静岡東部で震度 6 強」「原発・爆発の連鎖」福島第一、6 基中 4 基損壊」2 号機、命綱格納容器に不安」「危機管理後手」政権・東電、不信の壁」首相、欠けた危機感」保安院、鈍さ目立つ」「原発計画見直し必至」浜岡 6 号機も検討、M9.0 建設の想定外」
「市場、原発ショック」株日本売り」一気に東証終値 1015 円安、逃げる投資マネー、日銀オペ効果見えず」期末目前決算に影、銀行・生保、含み損も」「独原発 7 基、3 ヶ月停止」『大国』フランスは路線継続」「原子力政策岐路に」依存戦略に厳しい目、インフラ輸出に打撃」／M 「放射線年間限度 400 倍、福島第 1 原発」4 号機建屋も穴、20～30 キロ圏屋内退避」「放射線量」関東で 7～110 倍、直ちに健康影響せず」「止まらぬ事態悪化、『福島第 1』4 号機爆発」保安院『原因不明』燃料プール異常高温」政府対応後手に、東電と連絡本部設置遅れ」

→3・16 各紙社説

A「原発危機―『最悪』の回避に全力を」

M「高濃度放射能漏れ―住民守る体制に全力を」

Y「福島第1原発―放射能拡散を全力で阻止せよ」「株価暴落―政策総動員で不安の解消を」

N「原子力事故の拡大防止に全力を尽くせ」

T「高濃度放射能漏れ―破局回避に全力尽くせ」

サ「複合原発事故―国家危機に総力結集を、生命に危険な段階ではないが」
／政治部長・乾正人「『非常事態宣言』なぜ出さない」

H「最悪の原発事故―拡大防止へあらゆる力結集を」

3・16 被災者数―3・16 午後11時現在 (3・17A)

○死亡 5,167人以上

○安否不明 16,414人以上

○避難 434,242人

⇒3・16 自衛隊ヘリによる放水、高濃度放射線で断念―2号機格納機圧力低下 (3・17M) →「原発冷却へ機動隊」(3・17A)

⇒天皇、被災者にビデオメッセージ (3・17M)

⇒3・16 米国防総省、在日米軍への立入り禁止通達―第1原発から半径50カイリ (約93キロ) の立ち入りを原則禁止 (3・17N)

→3・17 Y「警視庁放水車投入へ、福島第一原発―火災2度の4号機、高濃度放射能で―自衛隊ヘリ見送り」「防護服の機動隊員、交代で」
T「3,4号機、注水難航、福島原発―高圧放水車、ヘリ投入」
A『原発作業放射能の壁、福島第一、現場確認も困難』
「被災地は今、道なお寸断何もかも足りない―市役所に食糧山積み、避難所へ運ぶ人手なし―スーパーに徹夜の列」「なぜ届かぬ―燃料なしトラック動けず、計画停電生産の足かせ」「どう届ける―隅々への輸送綱渡り政府急ぐ―配送先情報、ボランティアに―東北道開放も焦点、燃料運搬手続緩

和—西日本で物資増産、食糧や生活用品準備進む」「ガソリンいつ回復—計算上は能力十分、買いだめで悪影響」

3・17 各紙社説

A「津波被災地から—援助の物質を、人を」「原発との闘い—現場を十分に支援しよう」／編集委員・竹内敬二「緊急事態知恵集める時」

M「東日本大震災—的確なりリスク情報を／物質はまず被災地に」

Y「燃料不足—買いだめせず被災地に物資を／震災復旧予算—バラマキやめて財源にあてよ」

N「原発の最悪事態も想定し万全の対応を／食料・燃料の不足解消急げ」

T「届けよう、励まそう—雪の震災被災地」

H「被災地支援—混乱を回避し、救護に全力を」

3・17 被災者数—3・17 午後 11 時現在 (3・18A)

○死亡 5,694 人以上

○安否不明 17,607 人以上

○避難 407,066 人

3・17 福島第一原発 3 号機へ放水—陸自大型ヘリで海水投下／陸・海・空自、高圧消防車 5 台が地上放水／警視庁、高圧放水車で放水—放射線量上昇で中断 (3・18 各紙朝刊)

⇒3・17 米ルース大使・在日米人に避難勧告—半径 80 キロ以内の自国民に対して (3・17A 夕)

→3・18A「原発肉薄 30 トン放水、福島第一号機—自衛隊車両連続作業も、ヘリも 30 トン投下—冷却電源、復旧カギ」「大震災 1 週間—県外へ避難 1.5 万人」「放水命がけ—原発の上空、政変は 40 分—自衛隊、再び挑戦」「危機の 3 号機『もう限界だ』—あせる首相、決断促す」／M「停滞続く物資輸送、東日本大震災—人手、燃料が不足、インフラ復旧は進む—レトルト食品を増産」「『届ける態勢ない』被災自治体、苦悩抱え—自衛隊の運搬作業本格化」「放射能汚染各国警戒、福島原発事故—避難勧告、続々—日本

からの入国者に検査」「『原発は制御不能』EU」「通勤者の帰宅を直撃、大規模停電—ターミナル駅混乱、在宅患者『命綱』不安の声」「『大規模停電』薄氷の回避—東電官内、節電訴え—夕方ピーク時、鉄道各社が協力」「放射線量、相談窓口を設置、文科省発表—通常値超過、5 県」／Y「プールに燃料 4546 本、福島第一原発—3 号機、異常加熱—高温の燃料棒貯蔵、共用プールにさらに 6400 本」
—1~6 号機の核燃料プール、合計 4546 本、別に共用プールに 6375 本を貯蔵

→3・18 各紙社説

A「原発との闘い—最前線の挑戦を信じる」「自治体の連携—被災者を支え、迎えよう」／編集委員・竹内敬二「最悪回避へ最終局面」

M「東日本大震災—医療総動員で命を救え」「冷却にあらゆる手段を」

Y「円戦後最高値—投機的な為替変動に歯止めを」「福島第一原発—あらゆる冷却手段を活用せよ」

N「被災者への医療医・住宅支援を一刻も早く」「経済危機にも一体で対応を」

T「底力を発揮する時だ—日本経済と大地震」

サ「非常時シフトに変えよ—ばらまき止め全地方選延期を」

H「大震災 1 週間—考えうる全ての対策総動員を」

安保理決議—カダフィ政権の無法に対処できるか

3・16 リビア—政府軍、最後通告—反体制派本拠地ベンガシ住民に対して (3・17M夕)

⇒3・17 政府軍、ベンガシを空爆—郊外の空港を破壊 (3・18A)

⇒3・17 リビアに飛行禁止区域の安保理決議—カダフィ政権による反体制派への空爆などを防ぐため—賛成 15 カ中 10 カ国 (米、英、仏含む)、ロ

シア、中国、ドイツ、ブラジル、インドの5カ国は棄権（3・18A夕）

→3・18A夕「反体制派、国連決議を歓迎ーリビア、政府『介入には攻撃』」

⇒3・18 米、対リビア軍事行動参加方針表明ーオバマ大統領声明「カダフィ大佐が国民に残虐行為を働き、数千人が死亡しかねない」「『国連決議に従わない場合』軍事行動によって決議を実行する」（3・19A夕）

→3・19Y「リビア空爆、英仏検討、安保理武力行使を容認ーカダフィ氏側、停戦宣言」「米、政権側反攻に危機感ー安保理決議、軍事介入慎重姿勢を一転」

⇒3・19 軍事介入始まるー英仏米など中心の多国籍軍（仏サルコジ大統領発表）（3・20A）

3・18 統一地方選延期法成立ー参院本会議（与野党の賛成多数で）ー統一地方選を「適正に行うことが困難」と総務相が指摘する自治体の首長選・議員選の投開票日を2ヵ月～6ヵ月の範囲内で延期できる（3・18A夕）

3・18 大卒内定率、最低 77.4%（文科省・厚労省発表）ー2・1時点で、1999年以来最低、約9万人が就職先未定／高校生の内定率（1・末時点）は83.5%（3・18A夕）

3・18 A夕「円高阻止へ日米欧介入、G7合意ー円、一時81円台に」G7危機感異例の協調ー世界経済悪化回避狙い」「放水、東京消防庁も派遣ー福島第一、自衛隊含め総力戦」

／Y夕「米、日本政府に不信感、原発事故ー『情報隠しでは』メディア、危機感欠如を指摘ー米軍、放射線部隊を派遣ー外国人、日本脱出の動き」「政府、米の支援断るー事故直後、海水投下も米が要求」

3・17 オバマ大統領、声明ー東日本大震災に関し「米国は常に共にあるのだと知って下さい。…日本の皆様に、神のご加護がありますように」、半径80キロ圏内の米国人に対する避難勧告について「米国民の安全を確保するため、慎重な科学的評価と指針に基づいた決定」「日本の作業員らの英雄的な努力にもかかわらず、発電所の損壊が近隣にいる人々に相当のリスクを

及ぼしている」

原発事故レベル—米スリーマイル島事故なみ評価

3・18 被災者数—3・18 午後 11 時現在 (3・19A)

- 死亡 6,911 人 (警察庁確認)
- 安否不明 19,370 人以上 (同 1 万 0754 人)
- 避難 403,975 人
- 負傷 2,356 人 (警察庁)
- 建物損壊 10 万 3136 戸 (同)

⇒3・18 政府、福島第 1 事故「レベル 5」の暫定評価—経産省原子力安全保安院、国際評価尺度 (INES) で 1~3 号機について—79 年の米スリーマイル島原発事故と同レベル (3・19M)

⇒3・19 東京消防庁専門部隊放水作業

→3・19A「被災者の遠方避難支援—政府・自治体、公営住宅など提供」「死者 6911 人戦後最悪に—不明なお 1 万 9 千人」「放水能力総動員、消防の特殊車両投入—地上 22 メートルから・海で取水中継も」「東北経済負荷生きず、大震災から 1 週間—大半は操業停止、物流の影響拡大」／M「東日本大震災 1 週間—死者 6911 人『阪神』を超える、被害戦後最悪に」「『安全原発』もろさ露呈、『福島第 1』事故 1 週間—『冷却』『電源』復旧懸命に—想定外の津波、多重防護機能せず」「米軍無人機福島原発映像—日本政府、公開に慎重」

／Y「日本の対応、各国に不安—米、詳細データ要求—退避勧告次々、正確な情報発信必要」

／T「原発政策転換必至に—代替開発が急務、輸出も暗雲」「福島原発事故『悲劇防ぐ措置とらず』—元チェルノブイリ技師、映像公開遅さ批判」

→3・19 各紙社説

- A 「大震災予算―危機対応へ大転換せよ」「ボランティア拠点づくりを急ぎたい」
- M 「原発の危機感―現場を全面支援したい」／「円売り協調介入―G7 の存在感示す時」
- Y 「震災 1 週間―医薬品供給と診療充実を急げ」「G7 電話会談―協調介入が円急騰を止めた」
- N 「合理的な節電で停電の混乱を最小限に」「市場安定の協調体制万全に」
- T 『『千年に一度』では済まぬ―大津波と東海・東南海』
- サ 「福島原発事故―現場の頑張りを支えたい」「被災地医療―助けられる人の死を防げ」
- H 「患者や障害者―国が命守る責任果たしてこそ」
- 3・19Y 夕「電源復旧最終―消防、3 号機に 60 トン放水―福島第 1 原発、自衛隊も午後実施」／A 夕「東電・日本政府―「対応が不透明」、NY タイムス社説」―「心配になるほど不透明だ」「(こうした対応が) 日本や世界中に懸念を深めている」(3・18 付NY)
- 3・19A 夕「首都圏品薄 3 つの壁、在庫減らす店作りも裏目―燃料不足『有る商品運べない』／計画停電、生産乱れ出勤遅れ／まとめ買い、米購入 10 倍の店も」／M 夕「初の仮設住宅着工、陸前高田―200 戸、来月入居」

菅政権―延命の大連立呼びかけ「不発」

- 3・19 大連立呼びかけ不発―自民谷垣総裁、菅首相よりの入閣要請拒否（電話）
 ―「わが党は震災復興に関して手を緩めることも惜しむこともなく、引き続き閣外から全面協力する。今の時点では総理は現体制をいじる時ではなく、被災者の支援、原発の対応に全力を尽くすべきだ」、菅首相「残念ですが、わかりました」と応答（3・20A）

→3・20A「自民、政権延命拒む」入閣要請一蹴、谷垣氏『唐突な話』—
『火事場泥棒だ』、首相独断与党内に不満」／Y「自民反発『政権延命策』、
入閣要請拒否一世論の反応警戒も一ねじれ解消、復興の加速狙う、首相」
／N「場当たり大連立、頓挫—延命策？自民が警戒、首相進退絡み再浮上も」
／T「大連立不発—首相『挙国一致』空回り—『頑張る』小沢氏もつれ
なく」／サ「国難、自覚なき菅政権—谷垣氏入閣拒否、大連立は挫折—

3・19 被災者 3・19 午後9時現在 (3・20A)

○死亡 7508人 (宮城4,449、岩手2,356、福島647、…)

○安否不明 17,653人 (宮城8,958、福島4,437、岩手4,253…)

○避難 334,854人 (宮城154,775、福島115,860、岩手49,454…)

⇒3・19 派遣自衛隊員 10万人超に—北沢防衛相 (記者会見)、3・19 午前
11時現在の派遣規模は約10万6000人 (陸自約6万9000人、海自約1万
6000人、空自約2万1000人) —95年阪神大震時約1万9000人 (3・20Y)

3・20

A「福島原発通電可能—冷却再開へ—歩」「農産物基準超す放射能—ホウ
レンソウ—牛乳、県『出荷自粛を』」「電源復旧へ危険覚悟—原子炉メーカ
—も懸命、ガレキ散乱撤去急務—消防放水『命中を確信』涙の隊長、家族
におわび」「仮設住宅過去最多へ、国交相『2ヵ月で3万戸』
—人手不足資材も高騰、『阪神』の教訓で先手」「資金供給 80兆円超え—
日銀の一週間、市場安定へ決意示す」「決心県外へ—茨城、被災『お互い
さま』—南三陸、お別れ手製の異動届—島根へ、原発の仲間よ『無事で』
—千葉へ、介護施設170人も移動」「避難町ごと、北へ南へ2万1千人—
大半は福島から—埼玉へ、福島・双葉1200人『受け入れ感謝』—大熊・
樽葉・浪江町、役場機能を移転／葛尾村、80キロ西へ全村民—栃木へ、福
島・飯館313人放射能に不安」「原発30キロ圏から—患者1200人搬送作
戦」「医療チーム駆け巡る—ガレキの山越え避難所へ、『診て』『聞いて』
お年寄り次々—不休の活動、届かぬ所も」／M「3万人が県外避難、東日
本大震災—全都道府県、受け入れ姿勢」「米、情報収集を強化—大気観測

機派遣、専門兵 450 人待機」「**浜岡原発 6 号機先送り、福島事故受け**—中部電首脳『仕方ない』、国の政策見直し必至」「『**出口はパニック**』福島第 1 原発—迫る津波車で逃れ、作業員が恐怖を語る」「町の風景様変わり、東日本大震災—節電、不可欠に—東京タワーなど照明自粛」

／Y「**住宅支援の輪全国に**—県外避難、1 万 6000 戸殆どが無償—国は具体策示さず、国交省『我々はサポート役』」「**ハウレンソウ放射能検出**—農家風評被害を懸念、専門家『問題ないレベル』」／T「**情報開示最優先に、スリーマイル経験者ら**—住民不安同じ構図、自己防衛の重要性訴え」「**勇氣**—『救世主に』**接近 2 メートル**—涙の消防隊員『家族に感謝』—震災翌日から放送準備」「『**4 号機プール**』見解相違—米『壁に穴』、日本『水位ある』—米独自で放射能測定」／サ「**原発稼動に影響広がる**—新設計画、一時中断相次ぐ」「**震災損失額、16 兆円予測も**—民間試算、原発事故でさらに拡大？」

3・20

各紙社説・論評

- A「**電力不足—停電より『計画節電』を**」／「**リビヤ介入—市民の保護を最優先に**」／編集委員・曾我豪「**復興大連合の構想—関東大震災に学べ**」
- M「**危機管理と内閣—与野党総力態勢を築け**」／「**大地震安否情報—知りたい、知らせたい**」／論説委員・人羅格「『**阪神**』を超す役割を地方が担う復興支援」
- Y「**官邸の危機管理—『複合事態』克服へ司令塔作れ**」／「**交通網寸断—陸海空で輸送手段の確保急げ**」
- N「**飲食物の放射能監視を強め実態示せ**」／「**みずほはATM復旧万全に**」
- T「**世界の目差しを畏れよ—日本へのエール**」
- サ「**国難を政争の具にするな**」／「**避難所生活—大規模な疎開で命守ろう**」
- H「**被災者避難—住民の不安にこたえる情報を**」

リビア情勢—英仏攻撃とカダフィ政権の抵抗

3・19

リビア—英仏、軍事攻撃開始

→3・21「リビア攻撃賛否二分、ロシアや中国『遺憾』—アフリカ連合、停戦要求—アラブ反発を米英仏警戒—米大統領、外遊先で発表」「内政干渉を否定、国連事務総長会見」／＼「カダフィ氏側強気—市街戦で内戦長期化も」

⇒3・19 エジプトで国民投票—憲法改正の是非めぐって／有権者（18歳以上）約4500万人、全国5400カ所の投票所で（3・21H）

→3・21 T「リビア空爆政府が支持—外相表明『暴力から国民を守る』」「戦斗泥沼化の恐れ、リビア空爆—地上部隊の投入も、多国籍軍反体制派を支援—政権側住民『介入許せない』」

3・20

被災者数（警察庁発表—3・21A）

○死亡 8,450人（宮城5053、岩手2650、福島691）

○安否不明 18,432人

○避難者 約33万8000人（12都道府県）

⇒3・20「全6基廃炉不可避」（東電内の見方）／枝野官房長官（記者会見）、「客観的な状況として、再び稼動できるような状態であるのかどうかははっきりしている」←3・19 原正夫・郡山市長、声明「福島第1原発の廃炉を前提に対応を」、海江田経産相に電話要請を—海江田氏「要請を受け止めて対処していきたい」（3・21A）

→3・21A「80歳と孫、9日ぶり救出—倒壊家屋、冷蔵庫のヨーグルト・コーラで」「福島第一、2号機通電—3～6号機接続急ぐ」「3号機圧力—一時上昇—消防・自衛隊放水継続」「リビアにミサイル攻撃—米英仏中心の多国籍軍」「原発危機回避へ綱渡り—原子炉の状態は、圧力にらみ海水注入—3号機蒸気放出、一時検討／1・2号機比較的安定」「燃料プールは、放水効果計測は不能—3・4号機建屋損壊、大量放射能飛散の恐れ」「農産物

に放射能計 5 県一規制値超す、千葉・栃木・群馬も」「漁業存亡の危機」
本州一の宮城壊滅状態、港も市場もメド立たず一復興『ゼロから』、築地
の取引激減」／Ｙ「被災者支援阻む壁、法の弾力運用必要」一漂着物に所有
権、勝手に撤去できず一車両の通行許可、医療関係者も却下一学校再建へ
補助、原状回復のみ適用」「救援物資市役所で滞留一被災地外から避難所
直送を」「企業の善意集まる」一現地への物流混乱、戦略不足政府に不満一
即席めん 100 万食・飲料水 100 万本・携帯電話 1 万 7000 台・ストーブ 800
台一レトルト食品・乾電池・トイレットペーパー、被災地向け生産加速」
／Ｚ「生活物資の供給急ぐ」一首都圏、食品など改善へ一ガソリン、月内に
も一被災地は品薄なお深刻」

3・21 サ「内閣支持率上昇 35.6%」一フジテレビ系「新報道 2001」が 3・17 首
都圏実施の男女 500 人対象で電話調査

①内閣一支持 35.6%、不支持 55.2%

②福島第一原発事故への政府対応一適切と思う 41.6%、そう思わない
52.6%

③子ども手当や高速道無料化の予算を削り、復興支援財源とすること一支持
83.0%、支持しない 12.4%

④日本は復興できると思うか一できる 94.6%、できない 2.6%

放射能一県外出荷停止指示と風評被害と

3・21 各紙社説

A「震災から 10 日一人の強さを信じて進む」

M「原発と放射能一リスク伝達に専門官を」／「リビア軍事介入一新たな
泥沼にせぬよう」

Ｙ「放射能漏出一監視を強化し『食』の不安防げ」／「リビア軍事介入一
虐殺防ぐための正当な行動だ」

N「ボランティアと義援金どう生かすか」／「政治リスクも残るリビア空爆」

T「物資の支援一網の目に行き渡るよう」／「情報伝達一素早く的確に率直に」

サ「農産物と風評被害一健康に不安抱く必要なし」／「プロ野球開幕一理解されぬナイター強行」

H「東京都知事一都政転換で福祉・防災都市を」

3・21 被災者数 (3・22A)

○死亡 8,805人(宮城5,364、岩手2,650、福島735)

○安否不明 18,335人

○避難者 31万超(警察庁まとめ)一県外避難2万5000人超

⇒3・21菅首相、農産物県外出荷停止指示一規制値超える放射性物資検出の農産物一福島・茨城・栃木・群馬産のハウレンソウ、かき菜及び福島県産原乳「人体に影響ない数値」としながら

→3・22A「放射能食の対応急ぐ一風評・市場混乱を懸念、菜物野菜は対象拡大も一出荷自粛・回収相次ぐ」「相当量のセシウム検出、茨城・ひたちなか雨で降下か」／M「放射性物質放出続く、福島第1原発一減圧排気／抑制プール／燃料プール一格納容器の圧力不安定」「米軍復旧活動本格化一捜索・物質輸送、原発支援は慎重」

一米海軍第7艦隊の派遣規模(3・20現在)、艦艇20隻、航空機140機、兵員約1万2750人、物資運搬約126トン／N「企業生産復元どこまで一工場損傷・計画停電・物流停滞、影落とす3つの制約一海外企業にも影響、基幹部品が不定・GMの工場停止」「復興への財源捻出急務一民主、公約を抜本見直し一つなぎ法案、年度内成立へ」「被害額『阪神』超す公算大」「スイス87%『廃止』一世論調査、反原発のうねり一独で『緑の党』伸張、州議会選」

／Y「インフラ復旧険しい道一物流一国道、45号寸断／在来線、被害すら

不明／財源一復興費 10 兆円超、調達案に無利子非課税国債／人材一被災自治体へ応援職員」

3・22 各紙社説

A 「放射能と食品一監視と説明を徹底せよ」／「統一地方選へ一自治の役割かみしめて」

M 「自治体の支援一被災者の受け皿さらに」／「電力節約一長期化に備えた対応を」

Y 「自治体間協力一被災者受け入れを広げよう」／「自衛隊派遣一行政と連携し効果的支援を」

N 「外国人の支援にも力と知恵を尽くそう」

T 「『政治の力』 尽くしたか一東日本大震災」

サ 「奇跡の生還一勇気与えた被災地の朗報」／「リビア爆撃一国民を守る人道的介入だ」

H 「避難所生活一暖かい食事を、風呂を、布団を」